



電子部品装置、半導体部品装置のメーカーとして1996年に設立。  
現在はマシニングセンター主体の精密機械部品加工を展開しており、サイコロ状の小さなものから最大加工サイズ2,000×1,000まで対応が可能。  
2019年には新工場を設立、移転した。

### ものづくりの街で生まれて

TDK株式会社を核として電子部品・デバイス関連産業に関わる企業が数多く集積するにかほ市。有限会社阿部加工所はそうした“ものづくりの街”と言える土地で、創業以来、日々研鑽を重ねてきた。

「決して大きな会社ではありませんが、最新の設備とベテランの職人の技術で丁寧な仕事を心掛けています」と語るのは阿部房士代表。小規模ながらマシニングセンターを主体とした精密機械部品加工を得意とし、ものづくりの地盤を支えている。

「高校卒業後、一度は地元を出て全く異なる業種で働いていましたが、縁あって戻ることとなりました。そこで当社を立ち上げたのですが、経験のない私が事業を始められたのもこの地域に根づく“ものづくりの土壌”のおかげでした」。

TDK関連の1社受注だけで経営は安定し、年間決められた受注量をこなすことで順調に売上を確保することができた。そんな日々が10年ほど続くこととなる。



“経営者としてリスクを負う覚悟があるのか”

しかし、そうした状況にも次第に暗雲が立ち込め始める。単純な仕事から順に海外移管が進み、生き残れるのは確かな技術と信念を持つ会社のみ。1社受注に頼り切った事業方針では立ち行かなくなった。

「何のために仕事をするのか。何を目的にした会社なのか。進むべき方向性をはっきりさせなければいけない時期がきていました」。

阿部代表は一旦事業を停止し、経営者として、“この地で何ができるのか。どんな事業に進むべきなのか。”を自らに問い、生き残るための術として、先行投資というリスクを負う覚悟を決めた。

### 再出発と時代を見据えた先行投資

1年の準備期間を経た2004年、阿部代表は現在の工場長と2人で再スタートを切る。設備投資と経験豊富な従業員の確保を進めながら県内外の商談会に足繁く通い、情報収集に努めた。

「単純なコスト比較ではなく、当社だからこそできる丁寧で確実な仕事を心掛けました。ものづくりの現場でも大切なのは“人と人”との結びつきです。あたり前のことですが、“嘘をつかない”“一度した約束を守る”そうした姿勢で少しずつ取引先を増やしていくことができました」。

営業はすべて阿部代表自らが足を運ぶトップセールスで行い、世の中のニーズを見据え、半導体や液晶、印刷機、電子、食品関係など様々な分野に裾野を広げた。また、半年ごとに売上の目標設定を行うなど、経営状況の“見える化”を推進。長期的な需要に対しては大胆な設備投資を行うことで、新たな取引先の開拓に繋げていった。



「どんなに考えても、いつどこでどうなるかは分かりません。実際、再スタート後にもリーマンショックが起こるなど、経営に対する不安は常に抱えています。それでもやれるときにやらなければいけない。スピード感をもって決断しなければいけないのは、当時から変わりません」。

時流を読む鋭い視線を向けるのは外だけではない。会社を支える従業員のため、社内環境の整備にも尽力する。その想いは、手狭になった旧工場から今年移転したばかりの新工場内の随所に見受けられる。不要な圧迫感や緊張感を生まないように天井の高さや壁紙の色まで細かくこだわった作業場に、仕事以外でも快適に過ごせる清潔感あふれる事務所や休憩室。機械の配置も従業員同士のコミュニケーションが円滑になるよう、中央に空間を設ける工夫を施している。

「放っておくと現場はどうしても雑然として汚れが目につくようになりますが、キレイな製品はキレイな環境でしか生まれません。例えば社員の子どもの遊びにきても“誇れる職場”。そんな環境づくりを目指しています」。



### 地域に誇れる企業をめざして

『ものづくりを通じて地域と社会に貢献し続ける企業であること』。それが阿部代表の示す指針だ。材料の調達から加工、表面処理、組立まで一貫した生産が可能な土地柄を活かし、地域経済を循環させる。従業員はすべて地元で雇用し、ものづくりの担い手育成に力を注ぐ。阿部加工所では特に若手従業員に対して、ベテラン技術者による自社教育だけに留まらず、講習会や同業他社への研修参加を積極的に後押ししている。

「設備も技術もどんどん進化しています。自社だけに目をむけた“井の中の蛙”ではいけません。本当の意味で広く社会を知り、探究心を満たすことで、より良い“ものづくり”を行ってほしいと思っています」。

今後は、地域のものづくりを担う企業の一員として地元の子どもの工場見学なども積極的に受け入れていきたいと阿部代表。ベテランから若手へ、そしてものづくりの未来を担う子どもたちへ。地域に支えられ、地域を支えるものづくりの土壌は、少数精鋭の小さな巨人たちにより、これからも確かに引き継がれ、さらなる発展を遂げていく。

- 1 合計7台のマシニング。単品ものから量産ものまでニーズに合わせて対応
- 2・3 製品は三次元測定器で測定。質の高い製品を納品している
- 4 社員同士のコミュニケーションも活発に取られている



### 有限会社阿部加工所

〒018-0402  
秋田県にかほ市平沢字塚田36-1  
TEL. 0184-36-3214  
FAX. 0184-36-3230

設立/1996年  
●資本金/300万円  
●従業員数/10名  
●営業品目/マシニングセンター主体の精密機械部品加工



代表取締役  
**阿部 房士**  
あべ ふさし